

UDC 621.327.634

X 6223

JIS

90mmフレキシブルディスクカートリッジ (13262/15916 磁束反転/rad)

JIS X 6223-1987

(2002 確認)

(2008 確認)

昭和62年11月1日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 62. 11. 1

官 報 公 示：昭和 62. 11. 5

原案作成協力者：社団法人 日本電子工業振興協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 和田 弘）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部電気・情報規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

90 mm フレキシブルディスクカートリッジ(13262/15916磁束反転/rad) X 6223-1987

90 mm Flexible Disk Cartridges (13262/15916 ftprad)

1. 適用範囲 この規格は、両面を磁束反転密度 13262/15916 磁束反転/rad、トラック密度 5.3トラック/mm で記録する情報交換用 90mm フレキシブルディスクカートリッジの構造・寸法、物理的・機械的特性及び電氣的・磁氣的特性について規定する。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、情報処理用語に関する日本工業規格⁽¹⁾によるほか、次のとおりとする。

- (1) **フレキシブルディスクカートリッジ** ケースにディスクを内蔵し、両面の記録面に情報処理システム及びそれに関連するシステムの情報を、磁氣的に記録保持する可とう(撓)形情報記録媒体。以下、フレキシブルディスクという。
- (2) **ハブ** ディスクの中心に取り付けられたディスク駆動用円板。ハブは、特定の角度の孔に、駆動軸をはめこむことによって、ディスクの同心回転を確実にする。
- (3) **シャッタ** フレキシブルディスクをディスク装置に着脱するときに、自動的にヘッドウィンド部を開閉する機構。
- (4) **ライナ** ディスクの清掃と摩耗防止のために、ディスクとケースの間に設ける保護用シート。
- (5) **ケース** シャッタ機構、書込み禁止孔及び識別孔をもつディスク保護用封入籍。
- (6) **書込み禁止孔** 閉じた状態のときだけディスクへの記録を可能とするため、ケースに設けた貫通孔。
- (7) **識別孔** この規格で規定されるフレキシブルディスクを識別するため、ケースに設けた貫通孔。
- (8) **標準フレキシブルディスク** 記録磁界、信号振幅、分解能、ピークシフト及び重ね書きの標準として用いられるもので、その特性値を国際標準化機構(ISO)が規定したフレキシブルディスク。

両面のトラック 00 と 79 を基準トラックとする。基準トラックは、磁束反転密度 15916 磁束反転/rad で校正されている。

- 注 (1) JIS X 0001 情報処理用語 (基本用語)
JIS X 0002 情報処理用語 (算術演算及び論理演算)
JIS X 0003 情報処理用語 (装置技術)
JIS X 0004 情報処理用語 (データの構成)
JIS X 0005 情報処理用語 (データの表現)
JIS X 0006 情報処理用語 (データの準備及び取扱い)
JIS X 0007 情報処理用語 (プログラミング)
JIS X 0008 情報処理用語 (規制、完全性及び安全保護)
JIS X 0009 情報処理用語 (データ通信)
JIS X 0010 情報処理用語 (操作技法及び機能)
JIS X 0011 情報処理用語 (制御装置、入出力装置及び演算装置)
JIS X 0012 情報処理用語 (データ媒体、記憶装置及び関連装置)
JIS X 0013 情報処理用語 (図形処理)
JIS X 0014 情報処理用語 (信頼性、保守及び可用性)
JIS X 0015 情報処理用語 (プログラム言語)
JIS X 0016 情報処理用語 (情報理論)

引用規格、対応国際規格及び関連規格：11ページに示す。